

「お茶大インデックス」を用いた教育研究機関の雇用環境評価

2010 年度女性研究者支援合同シンポジウム会場（京都大学）において、「お茶大インデックス」を用いた教育研究機関の雇用環境評価を実施した。調査概要は以下の通り。

調査実施日：2010 年 10 月 5 日、6 日（火・水）

配布機関数：52 機関

平均点：48.8 点／100 点

回収数：33 機関

最高点：87 点

回収率：63.5%

最低点：12 点

【調査結果】

お茶大インデックス評価結果 33 機関の回答割合

33 機関のお茶大インデックス評価結果について、50 項目それぞれに平均値と回答割合を算出した。回答割合を用いて図 1 を作成した。

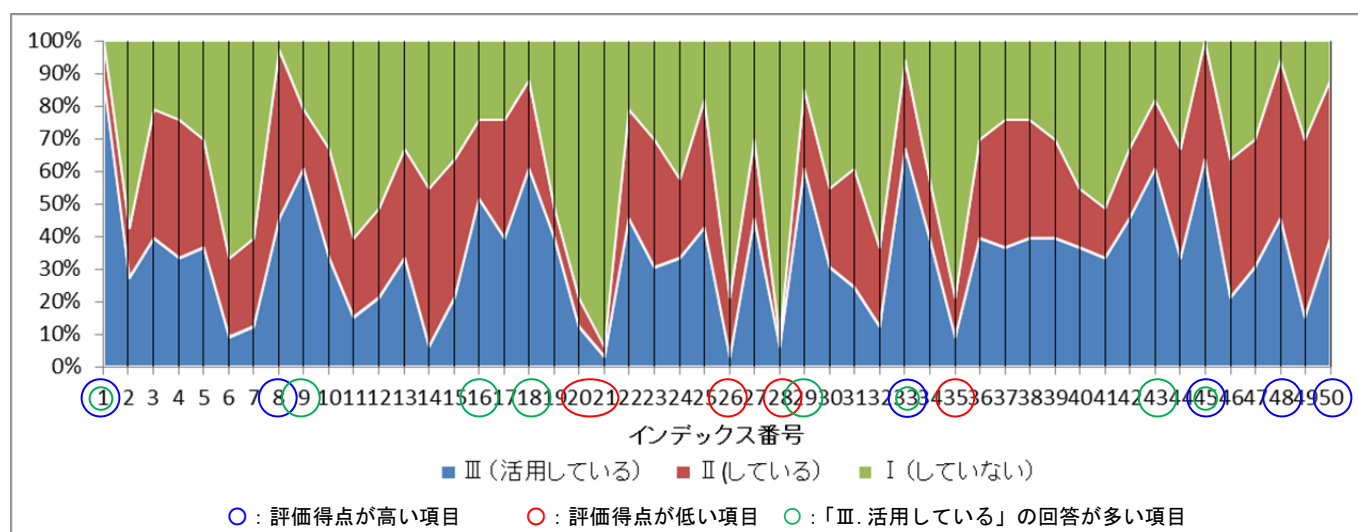


図 1.お茶大インデックス評価結果（全 33 機関、回答割合）

33 機関における実施度の高い取組（Ⅲ.活用している、Ⅱ.している）、低い取り組み（Ⅰ.していない）、活用度の高い取り組み（『Ⅲ.活用している』の回答が多い項目）は以下の通り。（カッコはインデックス番号を示す）

実施度の高い取組

- (1) 女性研究者を支援する組織の設置
- (8) 女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握
- (33) ホームページによる情報発信
- (45) ハラスメントを防止するための取組
- (48) 男女共同参画に対する意識啓発
- (50) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識啓発

実施度の低い取組

- (20) 学童保育施設の設置
- (21) 子育てを支援するための学内宿泊施設の整備
- (26) 出産・育児に配慮した業績評価制度の導入
- (28) 学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入
- (35) 子育て中の女性研究者を支援するための人材バンク構築

活用度の高い取組

- (1) 女性研究者を支援する組織の設置
- (9) 子育てを支援するための予算の配分
- (16) 女子休養室の設置
- (18) 保育施設の設置
- (29) 子育て中の女性研究者を支援するための研究補助者の配置
- (33) ホームページによる情報発信
- (43) 全職員向け女性研究者を支援するための情報発信（メール・新聞・掲示）
- (45) ハラスメントを防止するための取組

実施度の高い取組は「支援組織の設置」、「女性比率の把握」、「情報発信」、「意識啓発」であり、予算や人材に限りがある場合においても比較的实施しやすいことが窺える。

一方、実施度の低い取組は「学童保育」、「宿泊施設」、「業績評価制度の導入」、「奨学金制度」、「人材バンク」であり、人材、費用、設置場所、時間等がかかる取組は整備が困難であることがわかる。

また、「Ⅲ.活用している」の回答が多くみられたのは、「支援組織の設置」、「予算配分」、「休養室、保育施設の設置」、「研究補助者の配置」、「情報発信」、「意識啓発」であり、これらは導入後に有効に活用されていることがわかる。つまり、人材や費用、時間はかかっても、実益の得られる有効な支援であると推察できる。

お茶大インデックス評価結果 評価得点 上位 10 機関・下位 10 機関の特徴

33 機関のうち、インデックスの評価得点上位 10 機関（平均点 72.7 点/100 点中）の回答割合を用いて図 2 を作成し、評価得点下位 10 機関（平均点 27.8 点/100 点中）の回答割合を用いて図 3 を作成した。

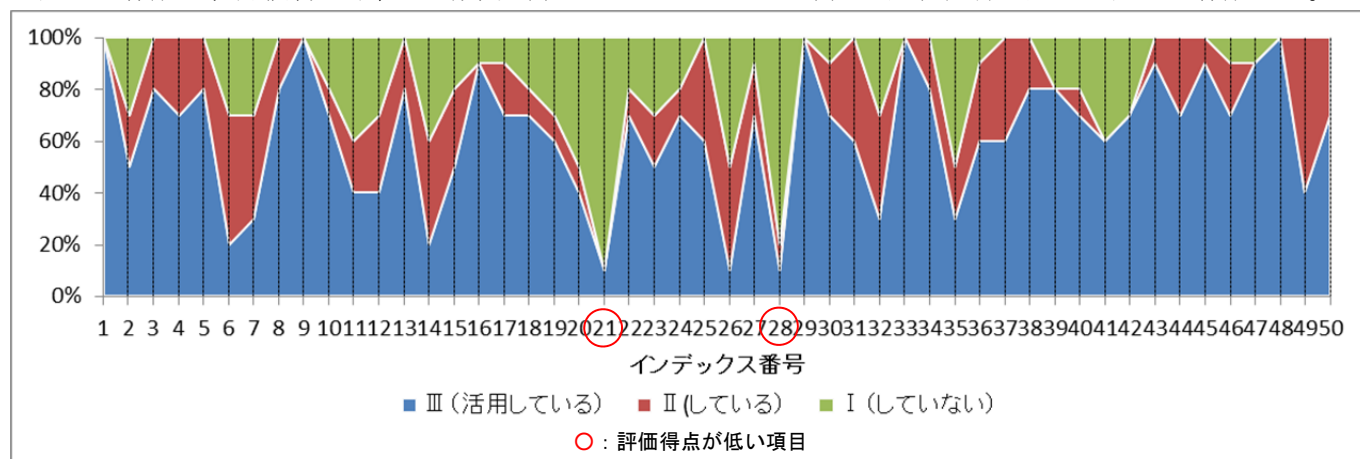


図 2. お茶大インデックス評価結果 (得点上位 10 機関)

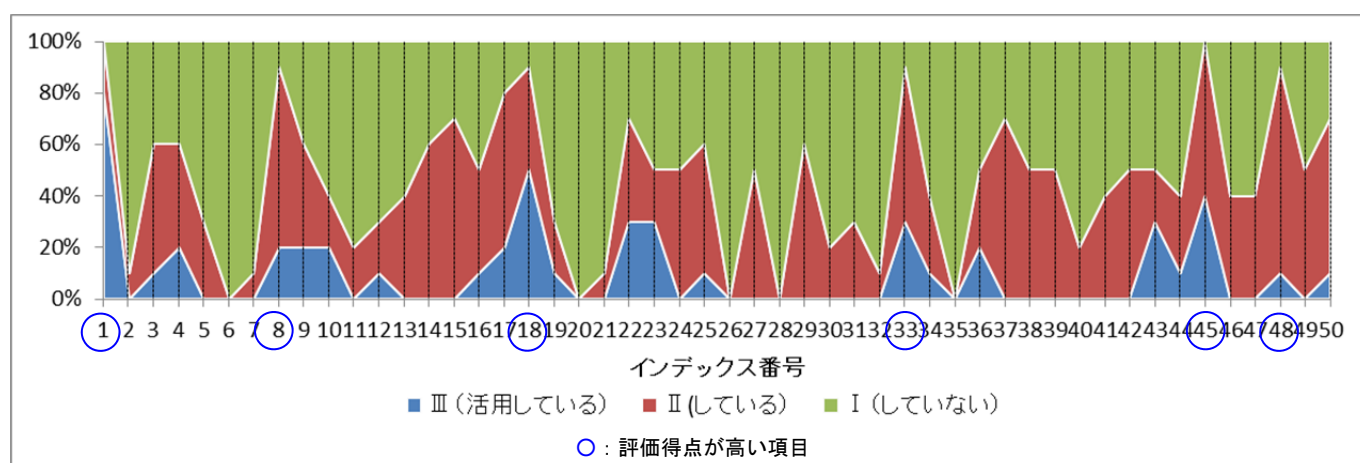


図 3. お茶大インデックス評価結果 (得点下位 10 機関)

図 2 から、インデックス評価得点が高得点であっても、(21) 子育てを支援するための学内宿泊施設の整備、(28) 学生・院生に対する子育て支援のための育児奨学金制度の導入は「していない」との回答が多く、これらの整備は支援体制が整っている機関においても困難であることが窺える。

一方、図 3 では、インデックス評価得点が低得点であっても、(1) 女性研究者を支援する組織の設置、(8) 女性研究者における研究分野別・職階別の女性比率の把握、(18) 保育施設の設置、(33) ホームページによる情報発信、(45) ハラスメントを防止するための取組、(48) 男女共同参画に対する意識啓発など、「女性研究者を支援する組織」や「女性比率の把握」、「保育施設」、「ホームページによる情報発信」、「ハラスメント防止」、「意識啓発」は支援体制が整っていない機関においても実施可能であり、女性支援をこれから始める機関への参考情報を得ることができた。

謝辞: 本調査を実施するにあたり、多くの方にご協力をいただきました。ここに、心より感謝の意を表します。